

『領事館訪問！ 領事館交流事業』

今年度、中国領事館との交流事業は領事館訪問になりました。名古屋市中区にある総領事館にバスで伺いました。物々しい愛知県警による警備、各路地に警察官が立ってみえました。領事館に到着するとまず中国の地理・歴史・文化に関するビデオを見せて頂きました。その後で文化担当の職員から中国の春節について詳しくお話を聞きました。除夕（除夜）の意味、旧正月についても教えていただきました。「夕」という怪物を除くための日であり、赤色や大きな音でおどかすことも知りました。中国・韓国・台湾・ベトナム・シンガポール・マレーシアなどが、旧正月を祝う中華文化圏であることも教えていただきました。総領事からは、日中友好の架け橋となってほしいというスピーチを聞きました。最後に子どもたちのために領事館のシェフが作ってくださった「ごま団子」を美味しくいただきました。子どもたちは「食」の面でも中国に親しみをもってくれたと思います。順調に今年度の領事館交流が進んでいます。トルコ領事館との交流では、総領事に日本の文化体験（茶道・剣道）を楽しんでいただいたそうです。

市のいじめ問題委員会を開催しました。今年度も特別に調査が必要な事案がなかったため、津島市の傾向や個々の案件について委員の皆さんに報告し、アドバイスをしていただきました。今年度の委員会では、SNSによる中傷や情報モラル教育について協議していただきました。改訂した「津島市 いじめ防止基本方針」についてもご意見をうかがいました。デジタルデバイスが発達してきたが、肝心な情報を読み取る力が落ちていること、そのため短いメールだけでは相手の思いを十分に理解できないことを問題点として挙げ、自分の考えや思いを正しく伝えることについてアドバイスいただきました。子どもたちを守るためにもSSNへの積極的な対応の提案をいただきました。

今年度も郷土愛（シビックプライド）を育てるため『津島の達人ジュニア歴史検定（15回目）』が終わり、『津島の達人ジュニア歴史選手権（12回目）』が行われようとしています。これらの学習で津島の歴史・文化を大切にする「キラリと光る津島の教育」を進めていきたいと考えています。学習の内容として豊富な歴史資源をもつ津島にとり、格好の教材となっています。選手権には同じ学校の5・6年生が2人一組で参加できます。各学校でチームを作り、ふるって参加をお願いします。

ふるさとに伊吹山あり風莢か

令和7年2月3日

津島市教育委員会
教育長 浅井厚視